

高松市 太田下町の家

●設計/M計画設計室 三井武一 ●施工/富士建設株式会社

住宅DATA

| | | | |
|------|--------------------------------|------|-------------------------------|
| 構造 | 木造 | 1階 | 85.29m ² (約25.80坪) |
| 工法 | 在来工法 | 2階 | 58.79m ² (約17.78坪) |
| 敷地面積 | 165.31m ² (約50.01坪) | 設計期間 | 2009年11月～2010年2月 |
| 延床面積 | 144.09m ² (約43.58坪) | 工事期間 | 2010年3月～2010年8月 |



家族の暮らしを彩る 白いキャンパスの家

建て主のIさんが最初に建てようネットを訪れたのは、2009年10月。まずミライブラリーの事例ファイルを見て気になった建築家・三井武一さんと面談しました。当時土地はまだ決まっていなかったが、面

談後すぐ三井さんの知り合いの不動産会社に土地を幾つか見せてもらい、そのうちのひとつに決定。間もなく家づくりがスタートしました。

Iさんは家づくりのイメージとして、家族5人の布団が干せるほど広いバルコニーと、たくさんの収納、サーフボードの入る外部収納、階段は1階と2階で仕切れる事を希望。三井さんは「最初はもう少し遊びがあったコンパクトな家で提案していましたが、リビングがだんだん広くなり現在のプランになりました」と振り返ります。しかも、南

み込んでくれるニューtralな家を提案し、統一感を持たせました。

またキッチンは奥さん好みにかわいらしく、全体に白い家にしたということも、外壁はジョリパットのコテ仕上げ、平屋部分にガルバリウム鋼板を使用。白い外壁は汚れにも敏感なため、庇の形状やサッシの納まりにも気を配り、汚れが壁を伝わりにくいように配慮しました。茶色く塗られた梁と板塀が白い外壁を引き立たせています。インテリアについては、木の温かみは好きだが木が主張しすぎると嫌ということで、壁は珪藻土のコテ仕上げ、床を含めた木部はオスモカラーで木目を生かした白い仕上げに、「全体に白っぽくナチュラルな仕上がりインテリアは絵の描かれていないキャンパスのようで、これからどんな絵が描かれていくのか楽しみです」という三井さん。3人の子どものたちの笑い声が、明るい色彩の絵を想像させてくれました。



photograph / Takeichi Mi

- 1 テラス上部を見上げる。白い塗り壁とガルバリウム鋼板のコントラストが美しい。
- 2 テラスのある個室コーナー。畳の下は収納になっている。
- 3 奥行き1.25m、長さ8mの広いバルコニー。
- 4 キッチン背面台の天板はスライドさせて使用できる。
- 5 本棚のたくさんある2階フリースペース。窓の外にはバルコニーがある。
- 6 広いリビング・ダイニング。玄関ホールからの明かりを取り込んでいる。
- 7 空の見えるハイサイドライトがうれしい玄関ホール。
- 8 リビングの片隅にある壁面収納。扉を開くとパソコンデスクになる。
- 9 奥さんこだわりの白いキッチン。目線部分が収納になっているため明るく使いやすい。
- 10 前面道路からみる外観。梁と板金がアクセントになっている。

